

提出 順番	No. 10	令和元年 11 月 25 日 午前・ 午後 2 時 40 分受領
----------	-----------	--

令和元年 11 月 25 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 藤谷 謹至



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
世紀の発見ナウマン象化石骨発見から50年、記念事業終了後の考えについて	<p>1969年7月、旧忠類村晩成の道路工事現場でゾウの歯の化石が見つかった。翌年6月から本格的な化石発掘調査が開始され、日本で初めてのナウマン象一頭分の化石骨が発見された。全身骨格標本のレプリカは23体作られ国内・海外にも展示されている。</p> <p>今回のナウマン象化石骨発見50周年記念事業の中で、ナウマン象記念館で開催された特別展「忠類で発見された化石たち～忠類ナウマン象化石の里帰り」では、北海道博物館に収蔵されている全47個の化石骨が十勝で初公開され、10月5日から11月4日までの来場者は3,181人に上り、年間入場者数は過去10年で最多を更新する見込みであると報道された。</p> <p>また、足跡化石の発掘調査では、新たに足跡化石と見られる2つの「くぼみ」も発見され更なる夢も膨らんでいる。</p> <p>今後、再々発掘などナウマン象化石骨発見50周年記念事業後の考えを伺う。</p> <p>① ナウマン象化石骨発見50周年記念事業の現時点での主な検証結果は。</p> <p>② 限られた日程で再発掘調査は予想以上に順調に進んだとされた。来年度以降の調査について具体的な考えは。</p> <p>③ 町内の小中学校での記念館利用実績とナウマン象化石骨の学術的価値を授業等にどう活用しているのか。</p> <p>④ 1988年に建設されたナウマン象記念館の展示物を含めた施設のリニューアルや学芸員の配置等を含め、今後いかにナウマン象化石骨の価値を高め、活用し地域振興へとつなげていくのか。</p>

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。